

10月は里親月間です

## 子どもたちの未来のためにできること

～里親をやってみませんか？～

刈谷児童相談センター管内には、令和3年4月1日現在、自分の家庭で生活することができず、援助を必要としている子どもたちが約140人います。しかし、養育里親として活動している、もしくは活動予定の家庭は少なく、ほとんどの子どもたちは施設で生活し、支援を必要としています。ぜひ、皆様のご協力をお願いします。

### 里親とは

保護者の病気や入院、生活苦または虐待などさまざまな事情により、自分の家庭で生活できない子どもたちを家庭へ迎え入れ、温かい雰囲気の中で生活を送る機会を提供する人

#### ◆養育費の支給

生活費や教育費、医療費など、子どもにかかる経費は、子1人あたり以下のとおり支給されます。

【里親手当】 90,000円/月

【生活費】 乳児：約60,000円/月、乳児以外：約52,000円/月

## 市内で里親として活躍している人の声

里親として登録し、2年半が経ちました。きっかけは2つあり、1つ目は、映画「六番目の幸福」を観たことです。中国で孤児たちを救った英国女性の実話に心を打たれ、憧れました。2つ目は、阪神・淡路大震災の時のことです。父が「震災遺児を里子として迎えたい」と提案した時、家族の中で唯一私だけが反対し、実現しませんでした。よく考えて出した答えでしたが、何となく親に対して申し訳ない気持ちが、時間が経っても残っていました。

末娘が小学生になる頃、市民だよりに掲載された里親養育体験発表会に参加しました。夫や子どもたちと話し合い、短期の里親を希望することに決め、今まで23人の子どもたちを預かりました。期間は1泊から数カ月までさまざまですが、どの子も家族の一員として、皆で協力して暮らしています。ご近所さんや地域の人たちが本当にとっても温かく、よく声を掛けてくださいます。また、実子たちは、「子どもたちの悲しいニュースを聞くと、みんなうちに来たらいいのと思う」、「どの子どもとってもかわいくて癒される」、「僕らが大人になるときは、助けが必要な子がいない、みんなが幸せな時代を作りたい」と話しています。



あんどうまんりょう  
安藤万陽さん(30代)

### 短期間の里親も大募集

「保護者の入院で赤ちゃんを3日間預かってほしい」、「次の生活場所が見つかるまで1週間くらい小学生を預かってほしい」という事情に協力していただける人を募集しています。詳細は、刈谷児童相談センターまで連絡してください。

問 刈谷児童相談センター (☎22-7111)

西三河児童・障害者相談センター (☎0564-27-2779)

愛知県 里親



### 里親制度を知ってもらうために

里親制度を広める活動や里親さんを応援するための里親サポーター養成講座や里親養育体験発表会を行っています。詳しくは県HPをご覧ください。

